

話したい先生が1Fの職員室にいるかを、 3Fの教室にいるときに、知りたい。

中学生高校生の皆さん、知りたくないですか？

走って確認しに行き、いなかったら戻る。繰り返す・・・これも良いと思います。しかし皆さんの時間は有限です。そんな貴重な時間を教室と職員室の往復に費やしては勿体無い。皆さんなら知るために何をしますか？

社会には様々なデータがあふれています。

そのデータが社会の課題解決につながり、これまでになかった新しいアイデアを生み出すきっかけにもなります。

そして、そのデータを取得する方法も様々です。

温度や湿度、長さのような計測がしやすいものもあれば、回数や個数などといった工夫をしないと計測できないものもあります。

そんなデータを、自らが駆け巡り、自らがセンサーをその場で組み立てプログラミングし、自らが集めて、価値をつくり出すことができるのが、スクーミーです。



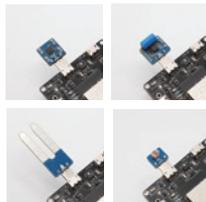
しっかり歩いているかどうかを知るために、
部屋を移動した回数を数えることにチャレンジ！

使うツール

スクーミーボード



センサーコネクター



スクーミーボードに
人感センサーを
組み合わせる



人が通った回数をカウントすることができるギアが完成！
センサーをすくつくりデータをとることができます。

体験会の概要

ご不明点があればお気軽にお問い合わせください
go@schoomy.com (担当：松嶋)

・体験会の内容

学校における様々なデータを取得するために、スクーミーボードとセンサーコネクターを組み立て、プログラミングをしデータを取得するギアを開発する。また広告にあるような「知りたい」ことをチームで分かれて測定し競う。

・実施時間

16:00-17:30 (18:00 までであれば体験会後も開発ができます)

・実施場所

多目的教室 (STEAM 棟 1F)

・定員

中学生高校生 30 人※先着順

・申し込み方法

Web ページにアクセスしていただきフォームから申し込み

・持ち物

PC を持ってきてください

※PC に TypeC の差し込み口しかない場合は、USB が差し込めるハブを持ってきてください。ない場合は貸し出します。



こちらから Web ページに
アクセスできます